

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		健康栄養学部
科目名称 [英語名称]	教職実践演習(中・高) [Seminar in the Teaching Profession (Junior High School and High School)]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	411420	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	植村 秀人/岩田 賢士/秋山 繁治			学位授与の方針 との関連			
授業概要	<p>本科目は、教職課程最終科目として4年間の大学における学習全般をふりかえる。それらを踏まえ、受講者一人ひとりが教師として必要な資質の確認を行い、自身の教師となる上での課題(不足している知識や技能)を把握し、その課題の改善に向けた検討を行う者である。そのことによって、受講者が、将来資質の高い高校農業科・高校理科・中学校理科となることをはかる。</p>						
関連する科目	教職課程全科目及び学科開設科目						
授業の進め方と方法	<p>本科目は、演習であるためグループワークなど受講生自身で考える内容を中心に実施する。ただし、外部講師の講演等講義形式となる会もあるので注意が必要である。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション～教職実践演習を学習する意義・履修カルテの記載(植村)</li> <li>2. 教師としての成長を考える①－教員育成指標について(植村) 教職実践演習の位置づけの確認及び自己課題の把握</li> <li>3. 教職の意義・役割・責任について考える①－教師に課せられる法的責任(植村)</li> <li>4. 教職の意義・役割・責任について考える②－教育者の社会的責務を考える(植村)</li> <li>5. 農や食で教えることを考える①－食農教育活動の事例から考える(植村)</li> <li>6. 教師としての成長を考える②－教員育成指標を検討する(植村) 教員としての意識を高める。</li> <li>7. 農や食で教えることを考える②－高校農業科教育の視点から考える(岩田)</li> <li>8. 教科教育などを考える①－農業教育と外部認証との関係(岩田)</li> <li>9. 教科教育などを考える②－探求的な教育活動と知的財産(岩田) 農業系学科卒業教員としての専門性を高める。</li> <li>10. 生命と教育について考える①－生命を教育で扱うことについて(秋山)</li> <li>11. 生命と教育について考える②－実験などにおける生命倫理(秋山)</li> <li>12. 生命と教育について考える③－理科・農業科と道徳教育の連携(秋山)</li> <li>13. 生命と教育について考える③－理科・農業科と性教育の連携(秋山) 教員として必要な生命倫理について理解する。</li> <li>14. 学校教育を考える－教育関係者講演(岩田)</li> <li>15. まとめ(岩田) 教職課程のとりまとめをする。</li> <li>16. レポート回収・説明</li> </ol>						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年次前期までに修得した学習内容を振り返り、教科指導や生徒指導に関する専門的知識・技能の到達度を確認する。</li> <li>・学生に教員としての自覚を促し、責任感を養う。</li> <li>・実際の学校現場で求められる実践的な知識・技能の育成について、現場の教員や教員経験者との意見交流や、学生同士のディスカッションを通して理解を深めることを目指す。</li> <li>・「生徒理解」「学級経営」「保護者との人間関係構築」など、社会性や対人関係能力が特に必要とされる領域を特に重点領域とする。</li> <li>・栄養教諭としての基礎的な力量の形成を目指す</li> </ul>						
授業時間外の学修	<p>教育実習における反省・課題考察を行なう(5時間)          教職課程全般を通じた課題に取り組む(20時間)          予習復習を行なう(15時間)          課題を行なう(10時間)          参考となる書籍などを自主的に読み将来への参考とすること(10時間)          (教育に関する社会的な話題や出来事について日頃から情報収集すること)</p>						
課題に対する フィードバック	レポートなどは受講生へ返却する			評価方法	秋山担当分:30点(授業ごとのレポート及び授業への参加度)岩田担当分:35点(授業ごとのレポート及び授業への参加度)植村担当分:35点(授業ごとのレポート)		
テキスト	適宜配布する						
参考書	「今後の教員養成・免許制度の在り方について」(答申)平成18年7月11日 中央教育審議会 文部科学省「小学校学習指導要領」 / 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」 文部科学省「中学校学習指導要領」 / 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編」 文部科学省「高等学校学習指導要領」 / 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総則編」						
備考	本科目は、開講期までに教育実習を終えている、若しくは後期に実施予定の者に限り履修できる。						